

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年06月03日

計画の名称	北海道胆振東部地震からの復興まちづくり計画												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	北広島市, 厚真町, 安平町												
計画の目標	平成30年9月6日の午前3時7分に発生した胆振地方中東部を震源とする平成30年北海道胆振東部地震により被災した市町において、被災地区における災害発生の原因究明及びそれに必要な調査を実施すると共に、地域活力の早期復興のための復興まちづくり計画（仮称）を策定する。 今回の災害を教訓としたまちづくりを実現するために必要な事業等について、地区住民と共に検証した上、災害に強いまちに復興するための将来ビジョンを示し、ハード・ソフトが一体となった地区防災力の強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	230	A	230	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度当初		平成31年度末
1	被災した地区における復興まちづくり計画の策定割合を100%とする。 復興まちづくり計画策定等に伴う、復旧・復興推進に向けた住民説明会の開催地区数 住民説明会の開催地区数	0地区	地区	3地区
2	被災した地区における復興まちづくり計画の策定割合を100%とする。 復興まちづくり計画策定等に伴う、復旧・復興推進に向けた住民説明会の地区毎の開催回数 住民説明会の地区毎の開催回数	1回	回	9回

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	北広島市	直接	北広島市	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業（北広島市大曲並木地区）	復興まちづくり計画策定	北広島市	■					75		-	
	A13-002	都市防災	一般	厚真町	直接	厚真町	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業（厚真町全域）	復興まちづくり計画策定	厚真町	■	■				100		-	
	A13-003	都市防災	一般	安平町	直接	安平町	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業（安平町全域）	復興まちづくり計画策定	安平町	■					55		-	
												小計						230		
												合計						230		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
学識経験者等による意見聴取会を行うとともに、北海道建設部まちづくり局都市環境課において一次評価を行い、北海道建設部政策評価委員会により二次評価を実施する。		令和4年3月	
		公表の方法	
		北海道公式ホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	基礎調査を実施し、検証に必要なデータを収集したことで、住民説明会において詳細な説明を行うことができた。また、これにより市民の安全、安心に住み続けられる地域づくりに関する議論が活発化し、地区に即した復興まちづくり計画の策定につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	住民説明会の開催により、住民の防災意識の向上が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、住民への丁寧な周知を行いつつ、被災地区の早期復興を目指す。
また、学識経験者等の意見については、関係する市町村と情報共有を図る。

【学識経験者等の意見】

- ・アウトプットとして目標以上の回数の説明会を開催したことは評価できる。
- ・被災地においては早期復興に繋がった効果があるかが重要である。
- ・説明会の参加者に対し、例えば目標に対して何割の人が納得されたか、あるいは将来に希望を持たかというアンケートを実施いただきたい。
- ・アンケートに関して、例えば福祉施設や町内会からの参加者によって説明会の成果は異なることから、説明会の参加人数や参加者の属性などのデータを把握いただきたい。説明会から町や自治会の座談会や勉強会等へ継承されたかどうかとも重要なデータとなり得る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	3地区	地区住民の防災意識の向上が図られたことで、より丁寧な説明が必要と考え、開催地区数を増やしたため。
	最終実績値	9地区	
2	最終目標値	9回	事業内容に対して、より深い理解を得られるよう開催回数を増やしたため。
	最終実績値	29回	